

健康と環境を重視した住宅 年輪で見分ける針葉樹材と広葉樹材

吉野 博
中尾七重

見逃し配信も
ご活用下さい

この夏は、過去最高の暑さであったことが気象庁から発表されました。そこでメインは、東北大学名誉教授吉野 博先生をお招きして、暑い夏に立ち向かえる高断熱高気密という装備をした住宅は如何なる効果を生むかを、詳しく教えていただきます。

古民家修復の細部に焦点を当てて紹介する新設の **ちょこっとコーナー** はいかがでしたか。今回は中尾七重所長が、針葉樹材と広葉樹材の見分け方を伝授します。お楽しみに！

年間全4回第2土曜日開催

14時から15時半頃までZOOM配信です

第13回:4月19日(2025年)済

第14回:7月12日(2025年)済

第15回:10月11日(2025年)★

第16回:1月10日(2026年)

針葉樹と広葉樹の区別なんて「楽勝!」とお思いでしょうが、材木になると意外と見分けは難しいのです。中尾

ちょこっと



阿部和建築文化研究所がウェブマガジンの取材を受けて、アップロードされましたのでどうぞご覧ください。

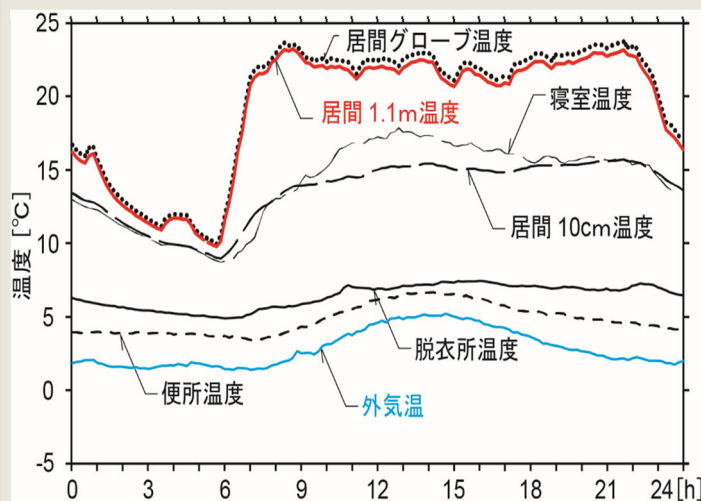
<https://goodjobjournal.com/>

(古民家の再生と修復技術の普及)



メインレクチャー

山形県の住宅における室内温度の一日の変化
明け方の居間の温度は10°C以下、暖房していない
便所や脱衣場の温度は5°C前後と低く、高齢者
にとっては血圧が高くなる温度となっている。



阿部和建築文化研究所について

2005年に設立。(株)阿部和工務店の社会貢献活動部門として位置づけ、活動内容はシンポジウムや見学会などの企画運営、まちづくり活動、修理工事報告書出版、研究論文発表など。今までに出版した修理工事報告書はNo.16を数える。[阿部和建築文化研究所 - 株式会社 阿部和工務店](#)

講師プロフィール

吉野 博 工学博士 1948年2月生まれ。横浜国立大学卒業、東京大学大学院修了。東北大学助教授、教授を経て2012年定年退職。2013年～2015年日本建築学会会長。2014年～2018年東北大学総長特命教授。現在、東北大学名誉教授、秋田県立大学客員教授。専門は建築環境工学。特に住宅の熱・空気環境、省エネルギー、居住者の健康等に関する研究に携わり、日本建築学会賞、空気調和・衛生工学会賞、空気調和・衛生工学会井上宇市記念賞、建築学会大賞等を受賞。

1992年に健康・快適・省エネな住宅の普及・促進のために「住まいと環境 東北フォーラム」を設立し理事長を務め現在に至る。

中尾 七重 博士(工学) 千葉大学大学院自然科学研究科居住空間学専攻、2024年度東北建築賞業績賞「古建築を対象にした放射性炭素年代調査法の開発と応用」日本建築学会東北支部、著書『合掌造りはいつ建てられたか』中尾七重・坂本稔 日本民家園叢書13 など。阿部和建築文化研究所所長

申し込み: <https://forms.gle/9BqSExTFJCST54958>

問合せ: (一社)宮城県建築士会

E-mail: miyagishikai@kenchikushi.or.jp

締切: 各回とも **3日前の水曜日**

共催: (一社)宮城県建築士会女性部会

共催: 阿部和建築文化研究所

